

平成 10 年(1998 年)～平成 18 年(2006 年)に東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野における膠原病の遺伝子解析研究に健常対照者としてご協力くださいました皆様へ(令和5年更新)

平成 10 年(1998 年)～平成 18 年(2006 年)にかけて、東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野における膠原病の遺伝子解析研究に健常対照者として参加のご同意を頂き、血液をご提供くださいました皆様へのご連絡です。

本研究は、研究期間終了後、遺伝子解析施設であった東京大学大学院医学系研究科・医学部研究倫理審査委員会の審査・承認に基づき、東京大学人類遺伝学分野におきまして、皆様方のお名前、生年月日、病院 ID などの個人情報と DNA 試料を照合するリストを廃棄し、照合できない形にした上で、膠原病の感受性遺伝子解析に利用させていただいてきました。研究担当者の異動に伴い、2007 年(平成 19 年)以降は、筑波大学大学院人間総合科学研究科および医学医療系医の倫理委員会の審査・承認に基づき、筑波大学医学医療系分子遺伝疫学研究室(研究責任者・土屋尚之)におきまして、解析を継続して参りました。

このたび、ヒトゲノム全体に分布する塩基配列の個人差(一塩基多型)を解析し、ANCA 関連血管炎に関連する遺伝子を探索する、「ゲノムワイド関連研究」を用いて、患者さんからご提供いただきました DNA 試料と皆様からご提供いただきました DNA 試料を比較検討する計画を追加し、筑波大学医学医療系医の倫理委員会にて審議・承認が得られましたので、お知らせいたします。

なお、この解析のために、DNA 試料の一部、および、その結果得られる一塩基多型情報を、それぞれ、セキュリティが確保された方法で、受託解析機関に送付いたします。お名前、生年月日、病院 ID などはすでに廃棄されており、照合することはできない状態となっております。本研究から得られる遺伝子配列情報の一部は、「個人識別符号」に該当いたしますが、皆様の血液等の遺伝子解析を再度別途に解析して照合するなどの特殊な方法を使わない限り、皆様と結びつけることはできません。解析によって得られた情報は、筑波大学医学医療系分子遺伝疫学研究室(研究責任者・土屋尚之)における ANCA 関連血管炎の遺伝子解析研究に利用いたします。解析後に残った試料は筑波大学分子遺伝疫学研究室に返却されます。

(令和 5 年 11 月:追記)

このたび、筑波大学分子遺伝疫学研究室において研究分担者として本研究に従事して参りました川崎 綾が研究責任者として本研究を継続することになりましたので、お

知らせいたします。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

令和 5 年 11 月

筑波大学医学医療系

川崎 綾(研究責任者)

e-mail: kawasaki.aya.gt[アット]u.tsukuba.ac.jp

(送信時は[アット]を@に置換してください)